

学長特別講演会

つなぐちから。山形大学

共育・共創・共生による持続可能な幸福社会の実現

2015年の国連総会で採択されたSDGs。この2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標については、認知度は高まったものの(本学でも90%以上)、その生まれた経緯や課題は意外と知られていません。

今回の講演会では、SDGsとは何か?を根源から理解するとともに、山形のもつ資源や特性に応じた持続可能な地域社会を構築するために、山形大学と山形に暮らす個々人が、どのようにSDGsをつなぎ、SDGsでつないでいくべきか考え、行動するきっかけとしたいと考えています。



山形大学 学長

玉手 英利
Tamate Hidetoshi

戦うSDGs入門



ガラパゴス化しない SDGs戦略

日時

2023.2.16 (木)
16:30 ~ 18:00

会場

山形大学小白川キャンパス
基盤教育1号館112教室

開催形式 対面及びオンライン
(Zoom ウェビナー)

対象：山形大学学生、教職員、高校生、卒業生、一般

参加費：無料

申込締切：2月13日(月)

お問い合わせ：山形大学総務部総務課秘書広報室

TEL：023-628-4008

Mail：yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込方法：下記 URL または右記 QR コードからお申し込みください。
申込者には、本講演会参加に必要な情報を開催日前日までにメールでお知らせします。

URL:<https://forms.office.com/r/tSChuksmFK>



本学にお越しいただく際には、公共交通機関や有料駐車場などのご利用をお願いいたします。
また、近隣の施設や店舗には駐車いただかないようお願いいたします。

講演者

外務省国際協力局
地球規模課題総括課長

松本 好一郎氏



持続可能な開発目標(SDGs)が国連で採択されてから7年の時が経ちました。最新の調査によると、日本におけるSDGsの認知度は86%と、過去最高の水準となりました。SDGsのマークを付けている方の割合も、日本は世界有数なのではないでしょうか。

しかし、ゴールとなる2030年に向けて、いま求められるのは、アクションです。そして、私たち一人ひとりがとろうとしているそのアクションの方向性は、現実の地球規模課題解決に役立ち、すべての人々の利益につながっているのでしょうか。

2023年は、SDGs達成に向けた「折り返し」の年ですが、日本がG7広島サミットを主催する非常に重要な節目でもあります。講演では、外務省の視点からSDGsの基本を解説し、経済活動に従事される皆様の企業戦略に直結するような、これからのあるべきSDGs戦略についてお話ししたいと思います。

●PROFILE

神奈川県横浜市生まれ。慶応義塾大学法学部卒業後、外務省入省。OECD 日本政府代表部参事官、内閣官房国家安全保障局企画官、外務省総合外交政策局総務課外交調整官、同軍縮不拡散・科学原子力課国際原子力協力室長、総理大臣官邸国際広報室長を経て、2022年7月より外務省国際協力局地球規模課題総括課長。

1998年から2000年まで英オックスフォード大学トリニティ・カレッジに留学し、修士号(歴史)を取得。前職の官邸国際広報室長としては、これまで英BBC、スカイニュース、アル・ジャジーラなどのニュース番組に出演するなど、パブリック・ディプロマシー業務に従事。

コーディネーター (司会)

クレアブ株式会社 代表取締役社長
(山形大学客員教授)

土井 正己氏



山形大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています